

## [ホンダ]ミリ波レーダの調整（エイミング）（例：フィット GK3）

### 注意：

- ・ミリ波レーダの脱着および交換、ミリ波レーダ調整（エイミング）が必要な故障コードがメモリされた場合はこの作業を行って下さい。
- ・この作業はホンダ専用工具 070AJ-SDA0101（レーダエーマセット）を使用します。
- ・極力作業は十分な明度が確保出来る室内で行って下さい。
- ・ミリ波レーダ調整(エイミング)を正常に行う為に車両前方 10m、幅 4m、高さ 1.5m の空間が確保でき、尚且つ水準器等で測定し 1°以上の勾配が無い平坦な場所で行って下さい。
- ・上下傾き調整のミリ波レーダ調整（エイミング）はサービスマニュアルを参照に水準器を使用して機械的に行って下さい。

### 参考：

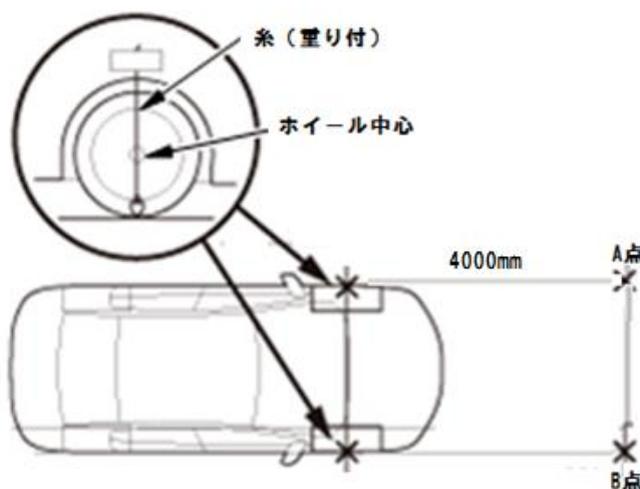
- ・作業前にミリ波レーダが正しく取付けられている事を確認して下さい。
- ・ミリ波レーダユニット表面に汚れや異物が付着している場合は、清掃・除去して下さい。
- ・タイヤの空気圧を規定圧に調整して下さい。
- ・調整中は車両に振動を与えたり乗降を行わないで下さい。
- ・調整作業中は車両のマルチインフォメーションディスプレイに工程に応じて様々な表示がされますが、表示内容および詳細に関してはサービスマニュアルを参照して下さい。

## 手順/操作

### ● ミリ波レーダの調整（エイミング） ※一部イラストは整備書より引用しております

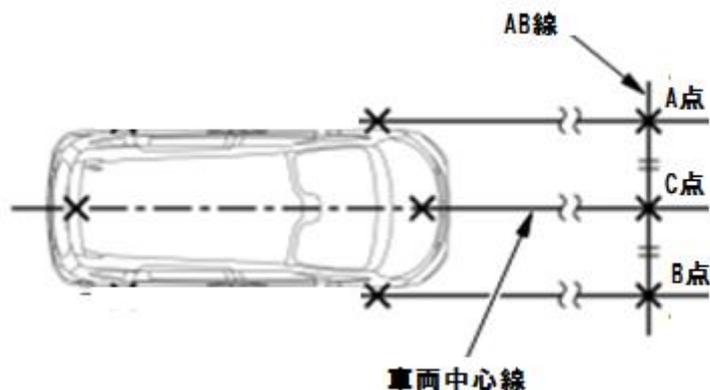
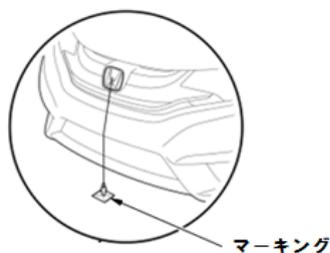
1.

フロントホイール中心を通る様に糸（重り付）を床面に垂直に垂らし接地点をマーキングしそこから車両前方 4000mm の位置に左右ともマーキングして下さい。  
助手席側を A 点、運転席側を B 点とし、この A 点と B 点を線で結んだ線を AB 線とします。



車両前端、および後端のエンブレム中心を通る様に糸（重り付）を床面に垂直に垂らし  
接地点をマーキングして下さい。マーキングしたこの2点を通る線を車両中心線とし  
この中心線とAB線が垂直に交わる位置をC点とします。

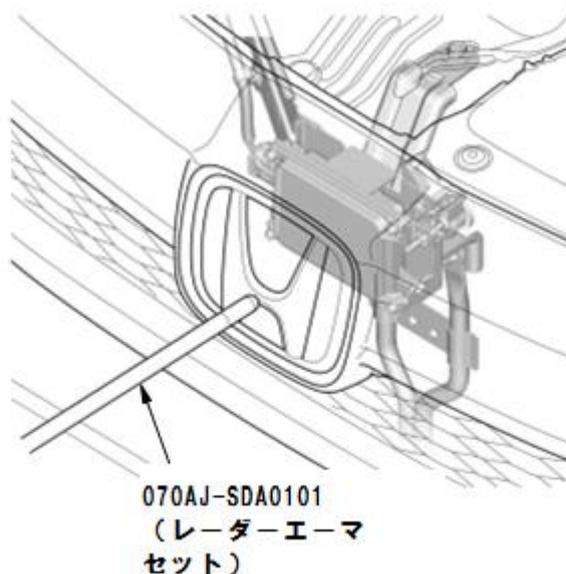
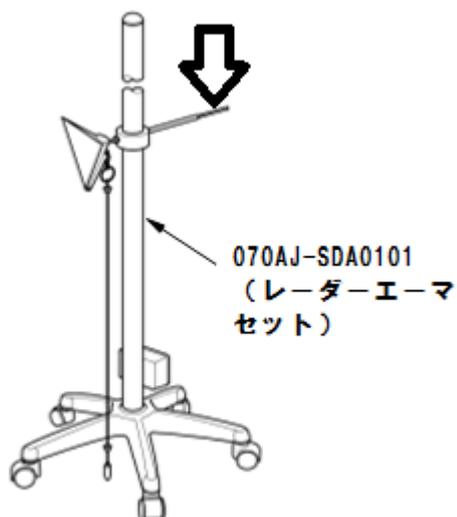
2.

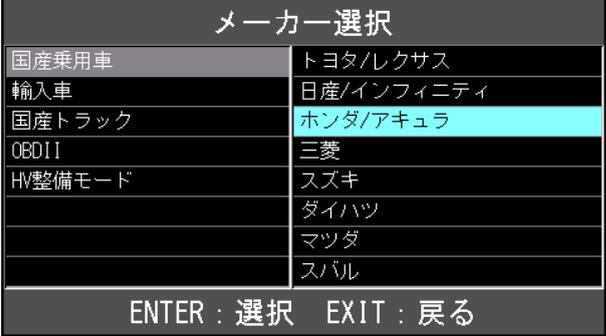
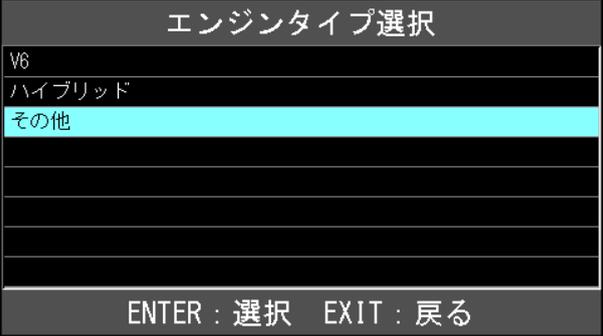


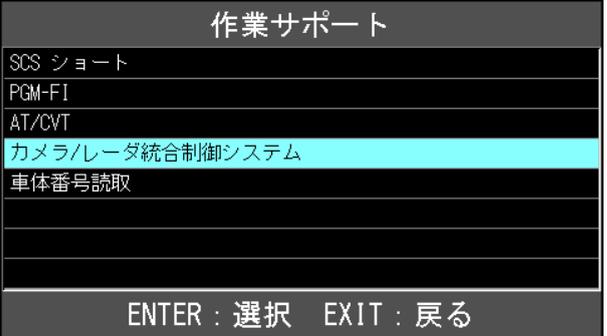
フロントエンブレム中心に、組み立てたレーダーエーマセットのテストピンの先端（矢印部）を  
合わせて高さを調節して固定して下さい。

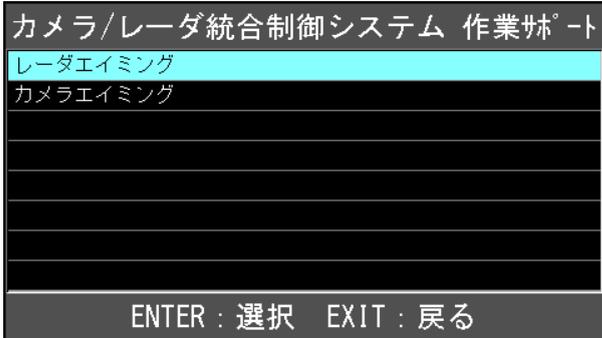
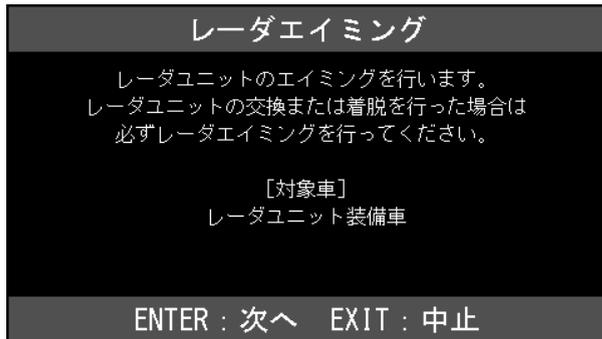
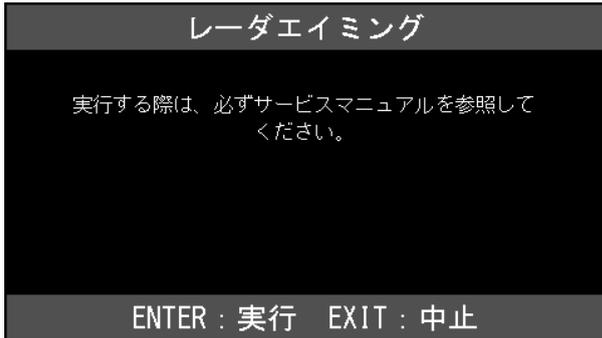
※この時点ではまだレーダーエーマセットを所定の位置に設置しないで下さい。（特に車両前方に  
置かない様にして下さい）

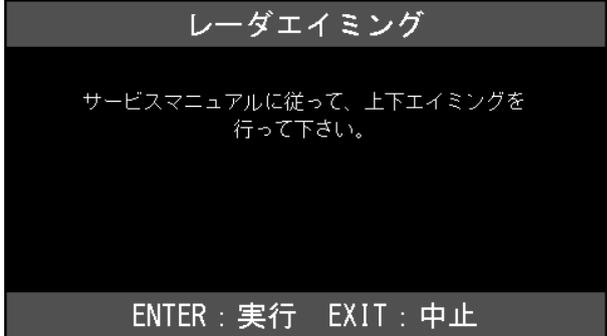
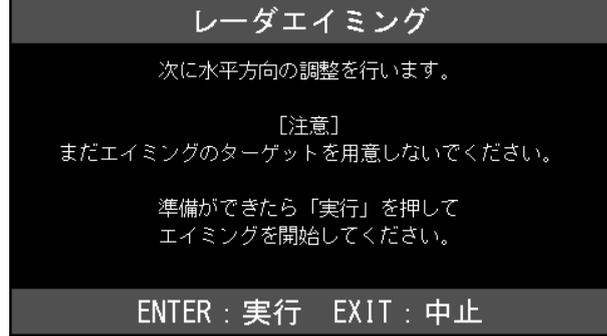
3.

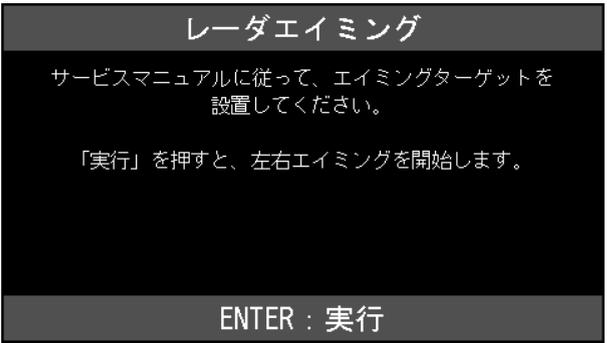
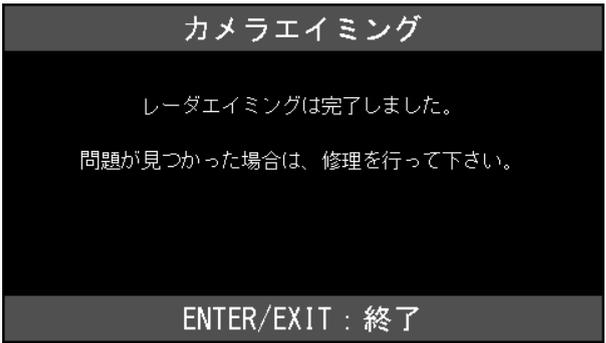


<p>4.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM-R を車両に接続して下さい。</p>																	
<p>5.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にします。 (ブレーキペダルを踏まずに、 プッシュスタートスイッチを 2 回押します)</p>	 <p>ブレーキを踏まずに、 2 回プッシュします。</p>																
<p>6.</p>	<p>『メーカー選択』から[ホンダ/アキュラ]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>メーカー選択</p> <table border="1"> <tr><td>国産乗用車</td><td>トヨタ/レクサス</td></tr> <tr><td>輸入車</td><td>日産/インフィニティ</td></tr> <tr><td>国産トラック</td><td>ホンダ/アキュラ</td></tr> <tr><td>OBDII</td><td>三菱</td></tr> <tr><td>HV整備モード</td><td>スズキ</td></tr> <tr><td></td><td>ダイハツ</td></tr> <tr><td></td><td>マツダ</td></tr> <tr><td></td><td>スバル</td></tr> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
国産乗用車	トヨタ/レクサス																	
輸入車	日産/インフィニティ																	
国産トラック	ホンダ/アキュラ																	
OBDII	三菱																	
HV整備モード	スズキ																	
	ダイハツ																	
	マツダ																	
	スバル																	
<p>7.</p>	<p>『エンジンタイプ選択』から[その他]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>エンジンタイプ選択</p> <table border="1"> <tr><td>V6</td></tr> <tr><td>ハイブリッド</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	V6	ハイブリッド	その他													
V6																		
ハイブリッド																		
その他																		

<p>8.</p>	<p>表示されている車体番号に間違いが無い事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>9.</p>	<p>『ホンダメインメニュー』から[作業サポート]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>10.</p>	<p>『作業サポート』から[ボディシステムを含む]と[ボディシステムを除く]の2項目がありますが、今回の作業ではどちらを選択しても影響ありませんので[ボディシステムを除く]を選択し作業を進めていきます。 [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>11.</p>	<p>『作業サポート』から[カメラ/レーダ統合制御システム]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p><b>12.</b></p>	<p>『カメラ/レーダ統合制御システム作業サポート』から[レーダエイミング]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>13.</b></p>	<p>レーダユニットのエイミングを行います。 レーダユニットの交換または着脱を行った場合は必ずレーダエイミングを行ってください。</p> <p>[対象車] レーダユニット装備車</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>14.</b></p>	<p>実行する際は、必ずサービスマニュアルを参照してください。</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p><b>15.</b></p>	<p>サービスマニュアルに従って、上下エイミングを行って下さい。</p> <p>必要に応じてサービスマニュアルを参考にエイミングを行い、作業完了後[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>レーダエイミング</p> <p>サービスマニュアルに従って、上下エイミングを行って下さい。</p> <p>ENTER : 実行 EXIT : 中止</p>
<p><b>16.</b></p>	<p>次に水平方向の調整を行います。</p> <p>[注意] まだエイミングのターゲットを用意しないでください。</p> <p>準備ができたなら「実行」を押してエイミングを開始してください。</p> <p>車両前方にターゲットや障害物が無い事を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>レーダエイミング</p> <p>次に水平方向の調整を行います。</p> <p>[注意] まだエイミングのターゲットを用意しないでください。</p> <p>準備ができたなら「実行」を押してエイミングを開始してください。</p> <p>ENTER : 実行 EXIT : 中止</p>
<p><b>17.</b></p>	<p>エイミング実行中</p> <p>次工程で左右エイミングを実施する為に車両前方にターゲットを含む障害物が無い事を確認しています。車両前方を横切るなどせずそのままお待ち下さい。</p>	 <p>レーダエイミング</p> <p>エイミング実行中</p>

<p><b>18.</b></p>	<p>サービスマニュアルに従って、エイミングターゲットを設置してください。</p> <p>「実行」を押すと、左右エイミングを開始します。</p> <p>リフレクタ面を車両に向け、手順 2 で設定した C 点直上にターゲットを設置して下さい。条件を整え[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p><b>19.</b></p>	<p>エイミング実行中</p> <p>レーザー照射測定、反射確認を実施しています。</p> <p>そのままお待ち下さい。</p>	
<p><b>20.</b></p>	<p>レーダエイミングは完了しました。</p> <p>問題が見つかった場合は、修理を行って下さい。</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	

21.

イグニッション・スイッチ OFF

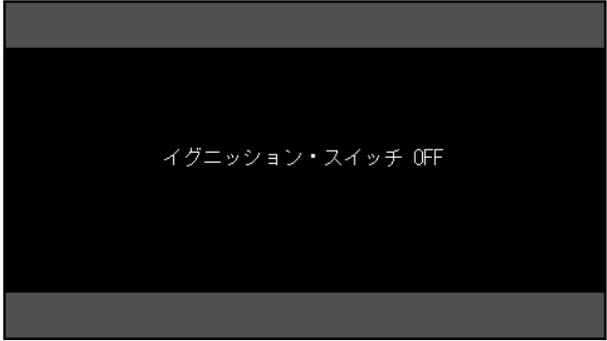
イグニッションを OFF にして下さい。

イグニッション・スイッチ ON

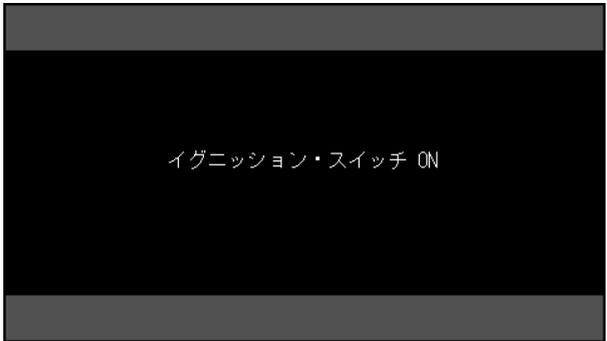
再度イグニッションを ON にして下さい。

以上で作業完了となります。

[EXIT]を数回押し『ホンダメインメニュー』  
まで画面を戻しイグニッションを OFF にして  
から安全に TPM-R を取り外して下さい。



イグニッション・スイッチ OFF



イグニッション・スイッチ ON